

CONTENTS

- 23 夏のボランティア体験事業・福祉活動員と介護支援専門員との意見交換会  
平成26年度事業・決算報告の報告  
浅口市食事ボランティアとの交流会
- 45 よりそい談話室・ホームヘルパー訪問記  
デイサービスセンター通信
- 6 我が家のぶち自慢・投稿記事
- 7 ふくしの豆知識・ご寄附
- 8 ふくし活動フォトギャラリー

# 社協だより

## はやしま福祉情報

【基本理念】 **お** たがいが支えあい **あ** んしんして **し** あわせに暮らせる **す** みよい地域をつくります

### 広げよう！サロン活動の輪



町内で高齢化率が最も高い樽島地区 (49.7%) に町内19箇所目のサロン活動が誕生しました。  
地域の人間関係の希薄化が叫ばれ出して久しい今日ですが、人とつながっていたいという願いの実現に向け、今後も住民主体のサロンの活動の広がりが期待されています。[P.6関連記事]

第1回 ふれあいサロン樽島 (樽島公民館)

### 町に愛を。胸に羽根を。



今年も10月1日から12月31日の期間で全国一斉に共同募金運動がはじまっています。あなたのやさしさが、あなたの声かけが、あなたの行動が、きっと、町を変えていくはじめの一歩となるはず。引き続き皆様の温かいご支援とご協力をよろしく願っています。

早島中学校 (早輝祭) での街頭募金の様子

## 夏のボランティア体験事業

体験期間 7月18日(土)～8月31日(月)

体験場所 町内活動先



人と人との触れ合いから地域との交流を深め、新たな気づきや発見の契機とすることを目的に行う本事業。今年も、早島中学校の生徒や一般の方、町外の高校生、大学生と合わせて156名の参加がありました。

7月4日(土)の事前説明会では、川崎医療福祉大学より山中健司さんからのボランティア体験談や事務局から体験の注意事項を説明し、町内各地で体験が始まりました。

8月21日(金)には、体験の振り返りを目的とした事後研修会を開催。各体験先に分かれグループワークを行い、活動やボランティアの意味を振り返りました。

### ボランティアを表す言葉について

- 自分が成長できる活動
  - 地域との交流
  - 思いやりの心
  - 積極的に取り組む活動
  - 協力すること
  - 人とのつながり
  - 達成感がある活動
  - コミュニケーション
  - 支えあい
- ※事後研修会グループワークからの抜粋



<受入協力施設、団体> 早島幼稚園、早島保育園、かんだ保育園、早島児童館、早島町地域活動支援センター、特別養護老人ホーム白亜館、早島町デイサービスセンター、早島町生涯学習課、早島支援学校、早島いぐさ手話サークル、早島要約筆記サークル'ぺんしる'、パンボラはやしま、早島朗読ボランティア福来朗、はやしま本だいですきの会、備中はやしま夏祭り実行委員会

ご協力ありがとうございました

## 福祉活動員と介護支援専門員との意見交換会

実施月日 8月27日(木)

実施場所 オアシス早島

早島町が進める地域包括ケアシステム構築に向けた動きに歩調を合わせ行われた意見交換会には、各地区で高齢者等の見守り訪問やサロン活動の運営を担う「福祉活動員」のうち39名と、町内の要支援・要介護認定を受けた介護サービス利用者を担当する介護支援専門員のうち12名が参加。双方の役割や業務の説明後に、9グループに分かれ意見交換を行いました。



援助が必要な方の介護や福祉サービスでは補えない、地域で生活されている間の「見守り」等の生活支援を進めるには、「ご本人やご家族の同意」を前提に、介護支援専門員等の専門職と、民生委員や福祉活動員をはじめとする近隣住民の方々との支援状況の情報共有が必要です。

今回の意見交換会は、双方の役割の理解のみならず、今後の住民と専門職協働での「個別ケア」の取り組みに向けた方向性を共有し、同じ援助者としての距離を近づける有意義な場となりました。

### 福祉活動員の役割 [対象] 地区の高齢者等

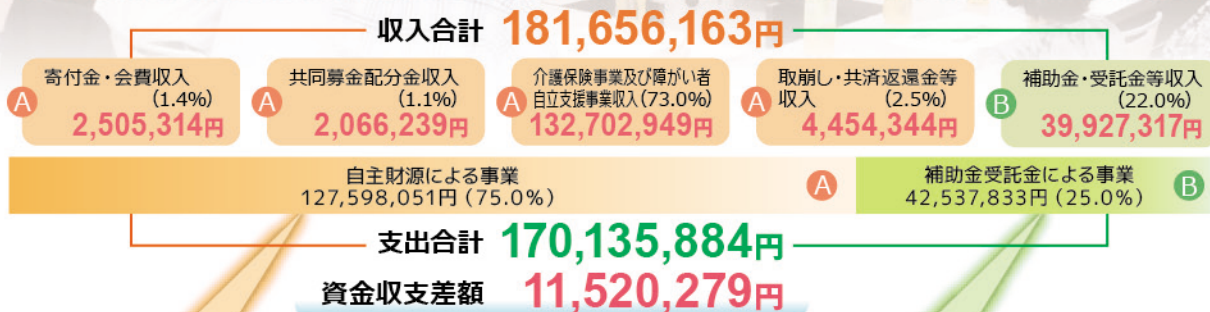
- 定期・不規則の見守り訪問（地区により異なる）
- 異変発見時の関係機関への連絡通報と連携支援
- サロン活動の開催（担い手・協力者）など

### 介護支援専門員の業務 [対象] 要介護・要支援認定者

- 介護サービス計画の作成・調整
- 訪問等によるサービス利用状況の確認
- 医療や介護・福祉サービスの調整や連携 など

# 平成26年度 事業・決算のご報告

平成26年度は、福祉活動に関するアンケート調査をはじめ、住民福祉座談会、策定委員会など多くの住民参画を得て、2カ年に渡り取り組んだ地域福祉活動計画『はやしまほっとプラン』の策定を完了しました。その他に実施した事業を含めてご報告いたします。



## 介護保険事業 **A**

- 居宅介護支援事業 (介護計画延べ作成数2,269件)
- 通所介護 (予防) 事業 (延べ利用者数9,015名)
- 訪問介護 (予防) 事業 (延べ利用者数836名)
- 障害者自立支援・居宅介護事業 (延べ利用者数92名)
- 軽度生活支援訪問介護事業 (延べ利用者数10名)

## 地域福祉事業

- 地域福祉活動計画の策定 (策定委員会4回、福祉課題分析・対策部会3回・延べ参加者数36名)
- 社協だよりの発行 (年4回)
- 福祉活動員制度の推進 (研修会5回、定例会7回、地域活動)
- コミュニケーション麻雀の普及推進 (定例会・延べ参加者数224名、町内5団体・延べ参加者数87名など)
- 自治会単位の福祉活動支援 (2地区)
- ふれあいいきいきサロン活動の推進 (17団体、延べ参加者数4,186名)
- 年末大掃除おたすけサービス (利用30世帯、協力者数49名)
- 福祉ボランティア・当事者活動の推進 (7団体)
- 福祉教育・啓発 (早島小車イス体験教室・体験者数125名、夏のボランティア体験・体験者数201名など)
- 介護用具貸出サービス (89件)

## 法人運営事業 **B**

- 理事会 (役員会) の開催 (年6回)
- 評議員会の開催 (年4回)

## 職員出向事業

- 地域包括支援センターへの職員出向 (2名)

## 地域福祉事業

- 地域福祉活動計画の策定
- 高齢者給食サービス活動の推進 (8団体、延べ参加者数3,563名)
- 福祉ボランティア・当事者活動の推進 (4団体)
- ボランティア活動に関する相談・調整 (調整件数65件・延べ活動者数259名)
- 地域福祉センター指定管理 (貸出406回・延べ利用者数6,671名)
- 介護職員初任者研修 (修了者数9名)
- 日常生活自立支援事業 (継続1件)
- 館具・用具の貸出 (45件)
- 福祉映画会の開催 (観客数402名)
- 生活福祉資金の貸付 (相談5件、継続4件)

## 浅口市食事ボランティアとの交流会

実施月日 6月24日(水)  
実施場所 オアシス早島

浅口市で高齢者世帯等への配食サービス活動を行う食事ボランティア『えぶろん (代表石井節子氏)』の皆さんと、町内各地区で高齢者世帯等へ会食の場を提供する給食ボランティア8グループの皆さんによる交流会が行われました。浅口市では、ボランティア手作りの配食サービスが月2回実施され、鴨方地区高齢者を中心に約80名の方が利用されています。



高齢化の進展により、町内の給食ボランティアの皆さんによる会食の場は、今後も継続が期待される大切な活動です。一方で、会場に来ることが困難な高齢者等への安否確認を兼ねた浅口市の『配食型』食事サービスの取り組みも重要であり、今回の交流会は、今後の町内での食事サービスのあり方を考えていく契機となりました。



# ケアマネジャーの よろこい談話室



私たちケアマネジャーは、在宅で介護認定を受けて生活をしている方の自立支援を目的に、在宅生活の継続を目標とし支援させていただいています。今年度は、サービスの活用方法・ご家族の対応のあり方について考えていきます。

## 第14回 「排せつトラブルの原因は？」

本人、介護者の大きな悩みのひとつに排せつトラブルがあります。「年だからしょうがない。」と、あきらめている方もいますが、本人、介護者の取り組みや工夫によって、解決できることもあります。

今回は、Bさんの排せつトラブルの事例を身体的要因に着目して解決策を探っていきます。



### 事例 Bさん 80歳 女性 「トイレに間に合わない!」

トイレの失敗ばかりで、  
迷惑かけるなあ。

オムツにした方が  
良いのかしら…

その前に…



## ケアマネジャーのひと言アドバイス

### ●事例から考えられる4つの身体的要因・対処例

- ① ふらつきがあり、トイレへ行くのに時間がかかる  
→ 通所介護や体操教室での専門職による運動など
- ② 認知症で排せつ動作や感覚が分からない  
→ 家族の声掛け、定時（食後）の排せつなど
- ③ 病気や内服薬の副作用によるもの  
→ 主治医や医療機関への相談など
- ④ 咳やくしゃみをした拍子に出てしまう  
こつばんていきんくんれん  
→ 骨盤底筋訓練（右記参照）を行うなど

骨盤底筋（骨盤の底にあり内臓を支えている筋肉の総称）を鍛える訓練です。腹圧がかかると起きる尿失禁の予防改善につながります。

### <骨盤底筋訓練の方法>

- ① 下記の姿勢で膣や肛門の筋肉（お尻）を10秒引き締め、10秒緩める（1回）。
- ② 10回=1セット、1日5セット行う。  
毎日継続すれば、早くても3か月で効果が見られます。



個々の状態や状況で対応が変わります。まずは医療、介護機関へご相談下さい。（参考：大鵬薬品HPなど）

●介護やサービスに関するご相談は、早島町居宅介護支援センター（☎086-482-3516）まで

## ほのぼの日記 ～アロマでリフレッシュ～

デイサービスセンターでは、お誕生日の利用者さんに、アロマオイルを使ったハンドマッサージを始めました。アロマという言葉にあまり馴染みのない方も多かつ

たのですが、いざ始めると「これは気持ちいいわ～」とリラックスしてウトウトされたり、初めての香りに話が弾んだり、穏やかな時間を過ごされています。



最高のお誕生日!!



ゆっくり、ほぐします!!



アロママッサージは血行促進に加え心身を落ち着かせたり、認知症のケアとしても効果があるといわれています。誕生日に心を込めたプレゼントとして、疲れを癒し、リフレッシュしていただいています。



# ホームヘルパー訪問記

このコーナーでは、私たち早島町ホームヘルパーステーションが、訪問しているご利用者の方とのやりとりや生活から、ホームヘルパーの気づきをお伝えしていきます。

## | 2015-8-12 | ～生涯研究の人生～

大正生まれの松本健吉良さんは、切手の収集、寺社の研究、彫刻や絵画等々と多才な趣味の持ち主です。特に子供の頃から取り組まれる切手収集では、船で運ばれた100年も前の郵便物やその切手を世界中から集め、その歴史を研究され、『潜水艦の発達とその活動』をテーマとした論文を発表。日本郵趣協会の最高賞を受賞され、更にコペンハーゲンの国際切手展でも銀賞を取るという快挙を成し遂げられました。



92歳の今でも県立図書館に通われ、興味が湧いた事は納得がいくまで調べるなど、学者のような知識の深さと熱意は変わりません。

生涯勉強と話される松本さん。「今思うことは、世の中や周囲の方々への感謝ですね。」とのお言葉に、謹厳実直なお人柄を感じます。今回も訪問を通じて素敵な出会いがありました。

## ヘルパー研修録

今年度の事業所の重点課題に挙げている「認知症の知識と理解」をテーマとした研修を行いました。認知症になっても住み慣れたご自宅で可能な限り長く安心して生活していただけるよう、その方に寄り添った援助ができるようヘルパー一同真剣に取り組んでいます。



●登録ヘルパーに関するお問合せは、早島町ホームヘルパーステーション(☎086-482-3518)まで



# デイサービスセンター 通信

## 頭をひねって めざせ特選!!

### ～デイサービス俳句の会編～

デイサービスでは月に1回、俳句の会があります。頭の体操にもなるからと皆さん楽しんで参加されています。

「難しいな～」と言われながらも、季節の風景や、身近な出来事などをヒントに言葉を選ばれています。時には職員も一緒に作るんですよ♪できた俳句をお互いに見比べたり、「ええ句じゃな」と誉めあったり、和やかなひと時です。



一生懸命  
作成中!

8月の  
特選句



ペンシルさんが  
スクリーンに句を紹介



### 瀬戸大橋サッカー大会で優勝

投稿者  
細川 裕介さん  
(日笠山)  
写真  
早島サッカー  
スポーツ少年団の  
皆さん



### 愛しい家族



投稿者  
岡田 恵理さん  
(頓行)

### 私たちの自信作



投稿者  
よしこ  
寺山 佳子さん  
(若宮)  
写真  
はがき絵の会の  
皆さん

### 十二支の木彫り



投稿者 溝手 富雄さん (久々原)

## ぷち自慢 写真大募集!!

皆さんからのほほえましい写真をお待ちしています!!

- ご家族(夫婦・親子・かわいい孫やひ孫さん..)との写真
- 大切な仲間との写真 ●自慢のペットとの写真
- 何かで受賞した時(賞状やメダル、トロフィー..)の写真
- 力作(丹精を込めたお庭や植木・花・野菜..)と一緒に写真
- 手芸や絵などの創作品と一緒に写真など・

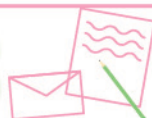
新しい家族が増えました!



〈お問合わせ・お申込み先〉

早島町社会福祉協議会 ☎482-3000  
E-mail: hayasyakyo@vp.tiki.ne.jp

## 投稿記事



私は、樽島地区の町営住宅で生活し、早46年が経ちました。地区内には、私が入居した当時からいる方もたくさん暮らしており、「お互いに年をとったな」と感じる今日この頃です。

昨年の秋、社会福祉協議会が主催する視察研修に参加し、笠岡市を訪れ地区活動を学びました。その時、私の住む地区にも「互いに年を重ねた皆で集える居場所」が必要だと強く感じ、長年、自治会長として周囲の人たちに支えられ、何か一つでも、恩返ししたいという想いがありました。また、私の地区は、高齢化率が約50%と町内一高く、この地区にも「集えて、話して、笑って、困りごとが相談できる」そんな「ふれあいの場」が必要だと思いました。

そこで早速、地区総会の中で、町内各地で実施されている「ふれあい・いきいきサロン」をつくりたい旨を伝え、具体的に取組む計画を提示し、皆さんの賛同を得ることができました。その後、サロン推進メンバーと共に協議を重ねた結果、今年の8月19日に「第一回ふれあいサロン樽島」を開催することができました。当日は、36名の住民の方が参加し、「また来たい」、「他のプログラムもやりたい」等の意欲的な感想が得られました。

私が思うサロンとは、地域のお年寄りなど、年齢に関係なく、集って話をしながらお茶を飲み、「今日も良かったな」と思ってもらえることです。人が一人で生きていくことは、大変困難な時代です。互いに励まし合い「行きたい、集まりたい」のサロンづくりに向け、これから頑張りたいです。

樽島自治会長

駒井 賢二



早島町内では、様々なボランティアグループや福祉当事者団体による活動がありますが、営利活動ではないため、活動に係る費用は十分ではありません。そこで、社会福祉協議会では、各グループや団体活動の調整・助言だけでなく、活動費の一部助成を行っています。今回はその助成金制度についてご紹介します。

## 助成制度の種類

### I. ふれあいいきいきサロン奨励制度

ふれあいを通して仲間づくりの輪を拡げ、支え合いの土壌づくりを目的に、住民である参加者と協力が創意と工夫をもって主体的に協働する自由な活動の経費を一部助成しています。

【助成団体】19団体

【助成上限】20,000円/年



### II. 高齢者給食サービス助成制度

高齢者や障がい者世帯等へ会食の場を提供する給食ボランティアグループに対して、活動に要する経費を一部補助しています。

【助成団体】8団体

【助成上限】活動実績に基づく



### III. 福祉当事者団体活動助成制度

高齢者や障がい者、介護者の他、何らかの生活課題を抱えた当事者の仲間づくりや情報交換、課題解決や改善に向けた活動に取り組む団体へ、活動の経費を一部助成しています。

【助成団体】3団体

【助成上限】活動実績に基づく



### IV. 福祉ボランティアグループ活動助成制度

高齢者や障がい者、児童等を対象としたボランティア活動を行う福祉ボランティアグループに活動の経費を一部助成しています。

【助成団体】7団体

【助成上限】活動実績に基づく



### V. 福祉のまちづくり活動助成制度

住民が自発的かつ組織的に行なう先駆的な福祉活動や、高齢者等の要援護者のニーズに沿い、柔軟かつ多様な福祉活動に取り組む団体へ活動の経費を一部助成しています。

【助成団体】2団体

【助成上限】100,000円/年

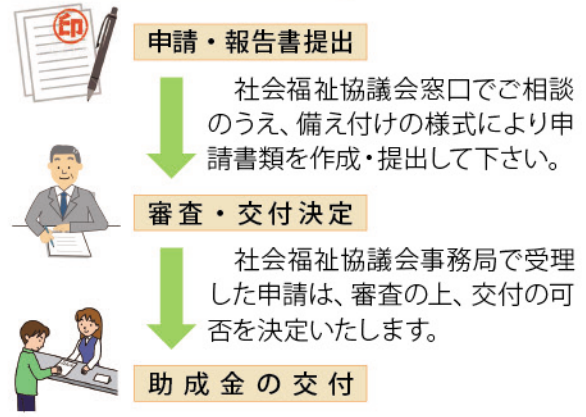


※助成団体は、平成27年9月現在

## 助成制度の概要

制度種類	活動の頻度	助成金の使途	財源
I	①月1回以上 ②年6回以上	活動費・運営費	共同募金・寄付金
II	月1～2回	給食機材購入費・食材費	町補助金
III	おおむね年6回以上	活動費・運営費・福祉教育活動費	共同募金・寄付金
IV	おおむね月1回以上	活動費・運営費・福祉教育活動費・備品購入費	共同募金・寄付金
V	活動内容による	活動費（備品購入費を除く）	共同募金

## 助成金活用の手続き



社会福祉協議会では、この他にも民間の助成制度の活用支援を行うなど、民間財源の活用にも努めています。また、町内の福祉活動は、その多くが住民の皆様方からの募金や寄付金などの浄財により支えられています。

助成金の活用や募金・寄付のご相談は、下記までお問い合わせ下さい。

早島町社会福祉協議会事務局 (☎086-482-3000)

## ご厚志ありがとうございました

(平成27年6月1日から8月31日までにお寄せいただいたご寄附)

### 香典返し寄附

前 潟 塩田 益也 様 (故 塩田 桂子 様)      前 潟 田中 健作 様 (故 田中美重子 様)  
若 宮 藤井 康男 様 (故 藤井 洋子 様)

### 一 般 寄 付

矢 尾 林 喜代子 様      矢 尾 平松 敬一 様

※匿名希望で一般寄附が2件、香典返し寄附が1件ありました。



# ふくし活動フォトギャラリー



## いきいきサロン三軒地

「暑い夏をみんなで乗り切ろう!」と、毎年恒例となった地区内バーベキューパーティ。地区内の畑で採れた新鮮な野菜やスイカなど食材も豊富に、普段は参加が少ない男性陣も準備から大活躍。飲み物を片手に、会話も弾み、日暮れまで今年も大盛況の会となりました。(H27.7.24/三軒地公民館)



## 片田地区夕涼み会

地区住民同士の交流の更なる活性化を目的に、今年度から毎月開催となったふれあいサロンの拡大版として開催。子どもからお年寄りまで約80名の参加があり、ソーメン流しやスーパーボールすくい、ビンゴゲームなど世代を超えて交流を深めました。(H27.8.8/片田公民館)



## 中山地区40周年記念行事

自治会結成後40周年を記念し、コンサートや屋台、40年の歴史写真展、20年前に埋めたタイムカプセルの掘り起こし作業等がありました。また、記念スライド上映時には、より高齢化が進む10年後を見据え、世代間で助け合える団地づくりの将来ビジョンが示されました。(H27.8.22/中山広場他)



## しゃべろうかい(宮崎地区)

活動開始後14年目を迎える同グループ。季節行事や軽い運動を行うこともあります。会の名前のとおり、参加者の皆さんが何気ない日常について'おしゃべり'をしながら大いに笑い、楽しみ、交流することを大切にしながら活動を続けられています。(H27.8.28/宮崎公民館)



## 給食ボランティア連絡協議会

町内8グループから22名のボランティアの方が参加された連絡会では、食中毒対策と腸内の免疫を高める方法を学びました。また、町健康福祉課から町内の高齢化の現状と、介護保険制度改定に伴う平成29年度に向けた要支援者への新たなサービス体系の説明を受けました。(H27.8.31/オアシス早島)



## サロン・ひだまり(備南台地区)

暑さを和らげる曇り空の下、ベタンクを行い汗を流しました。毎月第1金曜日に会合を行い、相互に意見を出し合いながら季節行事、親睦旅行といった活動予定や運営をグループメンバーみんなで決定。その他、「お茶会」や「麻雀会」などの部会を構成し、幅広く活動しています。(H27.9.2/備南台公園)